

のびる

令和7年11月25日

真岡市教育委員会

子育て中の皆さんへエール！

栃木県総合教育センター 生涯学習部

副主幹 室井 雅史 氏

はじめに

令和七年版『こども白書』によれば、現代の子育てを取り巻く環境は複雑化・多様化しており、保護者が直面する課題も深刻さを増しています。特に「妊娠期から子育て期の包括的な切れ目のない支援」や「貧困の解消・貧困の連鎖の防止に向けた学習支援」などが重要施策として挙げられており、子育て家庭への支援の必要性が強調されています。また、「こども家

庭センターを中核とした包括的・

継続的な支援」や「こどもの悩みに寄り添える社会の構築」など、保護者が孤立せず、安心して子育てできる環境づくりが喫緊の課題とされています。

こうした社会的背景の中で、保護者の皆さんは日々、子どもと向き合い、悩みながらも愛情を注がれているのではないのでしょうか。その姿は、何よりも尊く、子どもたちの未来を支える大きな力です。

しかし、時には「ちゃんとできているかな」「これでいいのかな」と不安になることもあると思います。そんなときこそ、思い出してほしいことがあります。



長田小 2年 児童

子育てに「正解」はありません

子ども一人ひとりが違うように、育て方も家庭もそれぞれです。大切なのは、子どもと向き合い、愛情をもつて接すること。完璧じゃなくても、迷いながらも、子どもは保護者のその姿からたくさんのことを学んでいます。

できていることに目を向けて

「今日もご飯を作った」「子どもの話を聞いた」「笑顔で送り出した」それだけでも、十分に素晴らしいことです。小さな積み重ねが、子どもの心を育てています。

あなたの存在が、

子どもにとっての安心です

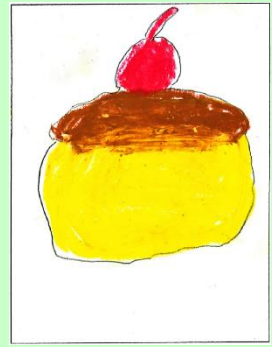
忙しくても、疲れていても、保護者の存在は、子どもにとっての「心のよりどころ」です。「ありがとう」「大好きだよ」と伝えるだけで、子どもは大きな安心感を得られます。

「怒らず」に「叱る」

叱り方って難しいですね。叱っているつもりでも怒ってしまっていないでしょうか。「怒る」は、感情をぶつけるもので、大人のストレスや苛立ちによる行為。「叱る」は、子どもに「何がいけないのか」「どうすればよかったのか」を伝え、成長を促す行為です。怒ると、子どもは「怖い」「嫌だ」と感じるだけで、何が悪かったのか理解できないことが多いです。



中村小 3年 児童



物部小 2年 児童

怒らずに叱ることのメリット

① 子どもが安心して話を聞ける
落ち着いた口調で話すことで、子どもは防衛的にならず、素直に受け止めやすくなります。

② 問題の本質を理解できる
「なぜそれがいけないのか」を説明することで、子どもは自分の行動を振り返り、次に活かす力が育ちます。

③ 親子の信頼関係が深まる
感情的に怒られるよりも、冷静に叱られることで「自分のことを考えてくれている」と感じ、信頼が生まれます。

実践のポイント

① まず深呼吸して気持ちを落ち着けましょう。



西田井小 4年 児童

② 行動に焦点を当てて叱りましょう。人格否定はしません。
例：「嘘をついたことはいけない」↓「あなたはダメな子」ではない。
③ 具体的にどうすればよかったかを伝えましょう。
④ 最後にフォローします。幼い子であれば抱きしめるのもよいでしょう。スキンシップや優しい声掛けで励まします。

おわりに

これから、子育ての中で悩んだり、喜んだり、いろいろな日々があると思います。でも、あなたの頑張り、必ず子どもの未来につながっています。どうか、自分をねぎらいながら、無理せず、ゆっくりお子さんと一緒に人生を歩んでください。応援しています。

保護者の皆さまが安心して子育てに取り組めるよう、相談や情報提供などの支援を「家庭教育オピニオンリーダー」が行っています。
例えば…

- ？ 家庭内でのルールづくりについて相談したい
 - ？ 子どもの生活習慣や学習への関わり方がわからない
 - ？ 思春期の子どもの接し方に悩んでいる
 - ？ 他の保護者の話を聞いてみたい
- そんな時は、家庭教育オピニオンリーダーに御相談ください。
地域の身近な存在として、皆さまの子育てを応援します。



こちらの家庭教育通信をお読みいただいた感想をお聞かせください！



真岡市では家庭教育について情報を発信しています！ご覧いただき、ぜひご活用ください。



ログイン不要で送信できるぴょん！

感想をお待ちしております♪

